

第7回 「市民と議員の懇談会」

報 告 書

H26.11.4～11.20

市内 20 会場



奥州市議会市政調査会

目 次

ページ

1 実施要領	1～3
2 開催状況	4
3 各班報告書	
第1班報告書	5
第2班報告書	6
第3班報告書	7
第4班報告書	8
第5班報告書	9
4 分野別意見、要望、提言等	
「人口減少問題」に係る意見、提言等	10～17
総務常任委員会所管に係る意見、提言等	18～25
教育厚生常任委員会所管に係る意見、提言等	26～30
産業経済常任委員会所管に係る意見、提言等	31～32
建設環境常任委員会所管に係る意見、提言等	33～36
議会に対する意見、要望等、その他	37～44
5 写真	45～46
6 開催チラシ	47～48

平成 26 年度市民と議員の懇談会実施要領

1 趣 旨

市民との多様な意見交換の場、議会が持つ情報の発信の場として、市民懇談会を開催し、議会の立場から市民への市政に関する情報提供に努めるとともに、議会に対する意見・提言・批判等市民の声を直接かつ広く聴取することにより、議会の監視機能及び政策提言機能を高める。

2 実施主体

奥州市議会市政調査会

3 開催月日、会場

月 日	開会時間	班	会 場
11月4日 (火)	14:00 ～ 15:30	1	若柳地区センター
		2	藤里地区センター
		3	田原地区センター
	19:00 ～ 20:30	1	水沢地区センター
		2	小山地区センター
		3	岩谷堂地区センター
11月17日 (月)	14:00 ～ 15:30	4	前沢地区センター
		5	江刺愛宕地区センター
	19:00 ～ 20:30	4	黒石地区センター
		5	佐倉河地区センター
11月19日 (水)	14:00 ～ 15:30	1	衣川地区センター
		2	姉体地区センター
		3	水沢南地区センター
	19:00 ～ 20:30	1	稲瀬地区センター
		2	衣里地区センター
		3	古城地区センター
11月20日 (木)	14:00 ～ 15:30	4	梁川地区センター
		5	北股地区センター
	19:00 ～ 20:30	4	胆沢愛宕地区センター
		5	生母地区センター

4 内 容

(1) 報告事項

① 9月議会の報告

(2) 懇談内容

① テーマ：「人口減少問題と奥州市の課題」

② 議会に対する意見要望、地域における諸課題等

5 班編成

別紙のとおり

6 周知方法

- (1) 市議会だより、市広報、ホームページに掲載、奥州FMで放送する。
- (2) 地区センターを通じて、地区振興会等各種団体に呼びかけてもらう。
- (3) 当該地区に個別チラシを作成し配布する。
- (4) 各議員は参加の声を挙げる。

7 今後の進め方

(1) 10/21 (火) 全員協議会終了後、市政調査会を開催。

① 当日の進め方 (9月定例会の報告、テーマについて話題提起)

② 班ごとの打合せ (役割分担確定)

[班長、進行係、説明係、記録係、受付係]

(2) 「市民と議員の懇談会」開催 [11/4～11/20]

(3) 班ごとの取りまとめ [期限 12/15 (月)]

・ 報告書、懇談会概要の作成

(4) 「市民と議員の懇談会」報告会開催 (27年1月中旬)

平成 26 年度「市民と議員の懇談会」班構成

①常任委員会：総務 7人、教育厚生 7人、産業経済 7人、建設環境 6人

②出身区：水沢区 10人、江刺区 6人、前沢区 4人、胆沢区 6人、衣川区 1人

③会派：奥和会 9人、市民クラブ 5人、日本共産党 5人、新世会 3人、公明党 2人、無会派 3人

【常任委員会、（出身区）、（会派）】

1 班	2 班	3 班	4 班	5 班
総務（水沢）（新世） 菊池利美	総務（江刺）（市民） 廣野富男	教育厚生（前沢）（奥和） 鈴木雅彦	総務（江刺）（奥和） 及川佐	教育厚生（江刺）（共産） 千葉敦
産業経済（前沢）（公明） 飯坂一也	建設環境（水沢）（奥和） 千葉正文	産業経済（水沢）（奥和） 菅原由和	教育厚生（水沢）（新世） 佐藤洋	産業経済（前沢）（新世） 菅原圭子
教育厚生（胆沢）（市民） 高橋政一	教育厚生（水沢）（公明） 阿部加代子	総務（胆沢）（共産） 今野裕文	総務（江刺）（市民） 佐藤郁夫	建設環境（水沢）（市民） 千葉悟郎
総務（江刺）（奥和） 中西秀俊	教育厚生（胆沢）（奥和） 小野寺隆夫	産業経済（江刺）（市民） 佐藤邦夫	産業経済（胆沢）（無） 加藤清	建設環境（胆沢）（奥和） 藤田慶則
建設環境（水沢）（共産） 及川善男	産業経済（衣川）（共産） 菅原明	建設環境（水沢）（無） 内田和良	建設環境（水沢）（奥和） 中澤俊明	総務（胆沢）（奥和） 渡辺忠
	産業経済（前沢）（無） 小野寺重		教育厚生（水沢）（共産） 千田美津子	
事務局 高橋和美	事務局 菊池敏彦	事務局 佐々木文恵	事務局 佐藤教雄	事務局 菅原幸一

平成 26 年度市民と議員の懇談会実施状況

月 日	開会時間	班	会 場	参 加 者		
				男性	女性	合計
11月4日 (火)	14:00 ～ 15:30	1	若柳地区センター	11	0	11
		2	藤里地区センター	28	5	33
		3	田原地区センター	16	0	16
	19:00 ～ 20:30	1	水沢地区センター	3	0	3
		2	小山地区センター	5	0	5
		3	岩谷堂地区センター	9	0	9
11月17日 (月)	14:00 ～ 15:30	4	前沢地区センター	12	0	12
		5	江刺愛宕地区センター	20	5	25
	19:00 ～ 20:30	4	黒石地区センター	13	1	14
		5	佐倉河地区センター	23	1	24
11月19日 (水)	14:00 ～ 15:30	1	衣川地区センター	4	1	5
		2	姉体地区センター	17	5	22
		3	水沢南地区センター	17	1	18
	19:00 ～ 20:30	1	稲瀬地区センター	24	0	24
		2	衣里地区センター	10	3	13
		3	古城地区センター	18	2	20
11月20日 (木)	14:00 ～ 15:30	4	梁川地区センター	10	2	12
		5	北股地区センター	8	4	12
	19:00 ～ 20:30	4	胆沢愛宕地区センター	3	1	4
		5	生母地区センター	7	0	7
第7回 (H26.11) 20 会場				258	31	289
第6回 (H25.11) 5 会場 (女性団体対象)				0	94	94
第5回 (H25.6) 10 会場				136	7	143
第4回 (H24.7～8) 30 会場				399	55	454
第3回 (H24.2) 10 会場				188	18	206
第2回 (H23.7) 10 会場				167	18	185
第1回 (H22.10～11) 10 会場				116	18	134

第7回「市民と議員の懇談会」第1班報告書

1 開催月日	平成26年11月4日(火) 午後2時1分から 午後3時40分	平成26年11月4日(火) 午後6時59分から 午後8時22分	平成26年11月19日(水) 午後2時2分から 午後3時38分	平成26年11月19日(水) 午後6時59分から 午後8時25分
2 会場	若柳地区センター	水沢地区センター	衣川地区センター	稲瀬地区センター
3 参加者数	6名 男性 6名 女性 0名	4名 男性 3名 女性 0名	7名 男性 4名 女性 1名	24名 男性 24名 女性 0名
4 出席議員	班長 及川 善男 議員 進行係 中西 秀俊 議員 説明係 高橋 政一 議員 記録係 菊池 利美 議員 飯坂 一也 議員 受付係 菊池 利美 議員 飯坂 一也 議員			
5 欠席議員 議員 議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

【若柳地区センター】

- ・参加者は地域役員が多く、一般住民の参加をどう図るかが課題
- ・移住者との意識の違いによるちょっとしたトラブルなどの具体例が示され、地域の実態がよく理解できた。

【水沢地区センター】

- ・出席者がわずか3名で盛り上がりには欠け、参加者2名は地区外からの参加であり、今後大きな課題を残した。
- ・参加者が少なく、一人当たりの発言回数、時間も多かったため参加者が感じている具体的に細かい点まで指摘があり、我々が普段気づかないような公園や利用状況が明らかになった。

第7回「市民と議員の懇談会」第 2 班報告書

1 開催月日	平成 26 年 11 月 4 日 (火) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 40 分	平成 26 年 11 月 4 日 (火) 午後 7 時 00 分から 午後 8 時 30 分	平成 26 年 11 月 19 日 (水) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 46 分	平成 26 年 11 月 19 日 (水) 午後 7 時 00 分から 午後 8 時 25 分
2 会 場	藤里地区センター	小山地区センター	姉体地区センター	衣里地区センター
3 参加者数	33 名 男性 32 名 女性 1 名	5 名 男性 5 名 女性 0 名	22 名 男性 17 名 女性 5 名	13 名 男性 10 名 女性 3 名
4 出席議員	班長 小野寺 重 議員 進行係 千葉 正文 議員 説明係 阿部加代子 議員 記録係 小野寺隆夫 議員 廣野富男 議員 菅原 明 議員 受付係 廣野 富男 議員			
5 欠席議員 議員 議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

- ①会場によって参加者のバラツキがある。(5人～33人)会場借用のみならず、声かけも地区センターにお願いしてみてもどうか?(〇〇名程度の動員をお願いしますーとか)
- ②冬季間の夜の会議は集まりづらい。時間を見直した方がよい。
- ③参加者を増やすため、常任委員会単位で、関係団体を対象にしてはどうか。
- ④テーマが難しかった。テーマの選定も検討が必要。
- ⑤住民の声を聞いたのだから、議会として次のアクションを起こすことも検討してはどうか。

第7回「市民と議員の懇談会」第 3 班報告書

1 開催月日	平成 26 年 11 月 4 日 (火) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 30 分	平成 26 年 11 月 4 日 (火) 午後 7 時 00 分から 午後 8 時 30 分	平成 26 年 11 月 19 日 (水) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 45 分	平成 26 年 11 月 19 日 (水) 午後 7 時 00 分から 午後 8 時 45 分
2 会 場	田原地区センター	岩谷堂地区センター	水沢南地区センター	古城地区センター
3 参加者数	16 名 男性 16 名 女性 0 名	9 名 男性 9 名 女性 0 名	18 名 男性 17 名 女性 1 名	20 名 男性 18 名 女性 2 名
4 出席議員	班 長...佐藤...邦夫.....議員 進行係...内田...和良.....議員 説明係...今野...裕文.....議員 記録係...菅原...由和.....議員 鈴木...雅彦.....議員 受付係...菅原...由和.....議員 鈴木...雅彦.....議員			
5 欠席議員議員議員議員議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

- ・女性や若い人の参加者が少ないので、ターゲットを絞ってやったほうがいい。
- ・各議員がそれぞれの地元に行った方が参加者が増えるのではないかな。
- ・住民が司会をしたり、住民からの提案によりテーマを決めてもよいのではないかな。
- ・各年代からの意見を聞きたいので、ターゲットを絞った場合にも継続したテーマで行ってみてはどうか。
- ・地区センターを通さずに開催する方向も検討してはどうか。地区センターを通すと参加者が決まってきた、率直な意見を言えないことがあるようだ。
- ・ワークショップ形式を取り入れてもいいのではないかな。
- ・ざっくばらんに語り合えるソフトな会にしたい。より多くの人と交わりながら話ができるように。(例)非公式で「居酒屋」でやる等

第7回「市民と議員の懇談会」第 4 班報告書

1 開催月日	平成 26 年 11 月 17 日 (月) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 27 分	平成 26 年 11 月 17 日 (月) 午後 7 時 00 分から 午後 8 時 34 分	平成 26 年 11 月 20 日 (木) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 30 分	平成 26 年 11 月 20 日 (木) 午後 7 時 00 分から 午後 8 時 47 分
2 会 場	前沢地区センター	黒石地区センター	梁川地区センター	胆沢愛宕地区センター
3 参加者数	12 名 男性 12 名 女性 0 名	12 名 男性 11 名 女性 1 名	12 名 男性 10 名 女性 2 名	4 名 男性 3 名 女性 1 名
4 出席議員	班 長 中澤 俊明 議員 進行係 佐藤 郁夫 議員 説明係 佐藤 洋 議員 記録係 千田美津子 議員 加藤 清 議員 受付係 及川 佐 議員			
5 欠席議員 議員 議員 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

- ・参加者が少なく毎回同じ人の出席のような感じがする。
- ・地区センターに依頼しPRしてもらってはどうか。(地区センターによっては独自にPRをしているところもあり)
- ・団体別(例えば福祉関係、防犯関係等)に懇談会を開催してはどうか。
- ・若い人の参加促進のため夜間の開催要望があったことから、開催時間の検討も必要。

第7回「市民と議員の懇談会」第 5 班報告書

1 開催月日	平成 26 年 11 月 17 日 (月) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 35 分	平成 26 年 11 月 17 日 (月) 午後 7 時 00 分から 午後 8 時 45 分	平成 26 年 11 月 20 日 (木) 午後 2 時 00 分から 午後 3 時 30 分	平成 26 年 11 月 20 日 (木) 午後 7 時 00 分から 午後 8 時 40 分
2 会 場	江刺愛宕地区センター	佐倉河地区センター	北股地区センター	生母地区センター
3 参加者数	25 名 男性 20 名 女性 5 名	24 名 男性 23 名 女性 1 名	12 名 男性 8 名 女性 4 名	7 名 男性 7 名 女性 0 名
4 出席議員	班 長 渡辺 忠 議員 進行係 千葉 悟郎 議員 藤田 慶則 議員 説明係 藤田 慶則 議員 記録係 千葉 敦 議員 菅原 圭子 議員 受付係 千葉 敦 議員 菅原 圭子 議員			
5 欠席議員 議員	千葉 悟郎 議員	千葉悟 郎 議員 議員

6 報告に対する質疑及び懇談の概要 (別紙)

7 反省点、次回の課題等

- ・若い人が参加できる工夫が必要ではないか。(小さい子どもが集まるのであれば、託児所の設置も)
- ・対象を若い人の団体としてはどうか。
- ・土曜、日曜の開催も検討してみてはどうか。
- ・保育士、PTA などの声を聞くことも必要ではないか。

「人口減少問題」に係る意見、提言等

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	若柳地区センター	奥州市では婚活の取り組みをやっているのか。	地区ごとに、商工会議所やNPOなどが主催して婚活の取り組みをしている。補助金が減らされており大きいものはない。	
		働く場所がないから若い人達がいなくなる。派遣社員ばかりでは結婚もできない。正規社員として働ける職場がほしい。企業誘致が必要だ。	市でも企業誘致に努力をしている。	
	水沢地区センター	小さな集落がさらに小さくなる。医療も費用に対する効果が悪くなる。サービスを提供するためには人を集めることも必要ではないか。	人を特定の場所に集めて、そこから農地に通勤するという発想も避けられないと考えている。	
		江刺の工業団地に企業を誘致してほしい。働く場所があれば定住化が進むのではないか。30代・40代の独身者が残っている。非正規雇用が原因だ。	この地域でも非正規の雇用が増えている。どう地域を作っていくかが、今後の課題である。活性化を図っていくことが必要である。	
	稲瀬地区センター	人口問題について。関東自動車で2500人が来るということだそう。奥州市に住んでもらえるように条件整備をすべきと思う。稲瀬は交通の便が良いので、将来のベッタウンにと考える。	東京エレクトロンで、6割は北上に住んでいるそうだ。雇用をつくっても、住んでもらわなければならない。	
	2	藤里地区センター	少子化対策について、議会の市長答弁で6月には、市内に少子人口対策室をつくって計画を策定する。9月には、10月以降少子人口対策推進本部を再開検討するといっているが、市の進め方をどう受け止めればいいのか。	平成23年以降、対策本部も幹事会も開催されていないことから、9月議会でどう進んでいるか尋ねたところ、今まであった協議会を改めて検討するとのことだったので期待している。今回の事務事業見直しでバッサリやめてしまう方針なので、それは逆行ではないかと思うし、300項目と合わせて人口問題に取り組んでいきたい。地域の5年後、10年後の人口構造を把握し、自分たちを支えてくれる人がいるのかを検討し、この部分は行政で、この部分は議員から話をしてもらいたいというふうに提案してほしい。視察で見してきたこと、見習いたいような事は市にも提案しているが、なかなか効果が表れていない。

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	小山地区センター	少子化の原因は何か。若い方々が結婚しないのか、大都市に行って住むようになったからか、どのように分析しているか。	今日、女性も働く場があつて収入もあり、結婚しなくても生活が出来る。世話する人もいなくなり人生設計というようなことも取り上げられない。諸々の環境が変わった。結婚しても30代とか晩婚で子どももせいぜい1人～2人の少子化になった。結婚は良いものだという、子供への教育もして来なかった。高学歴社会になって、地元から首都圏へ進学、その後の出会いも地方ではなくなった。・医療、福祉が機能できなくなる。	
		人口減少で何が問題か	集落が崩壊する。地域農業を継ぐ人がいなくなる。食べるものがなければ人は生きてゆけない。社会経済が縮小する。命をつなぐことが出来なくなる。社会を支えていく人がどんどん少なくなる。農村部が最も著しい。限界集落が多くなる。少子化は地方において大きな問題だ。福祉協議会で、スノーバスターズのボランティアを募集している。例えば、誰が除雪をするのか。お年寄りには生活しづらい環境になってくると思う。	
		少子化対策として、婚活を市が全額負担でやってもらえないか。厳しい財政の中でもこのことに集中して取り組むべきではないか。	今までのやり方ではダメな事は分かっている。形を変え、本腰を入れていくことだと思う。東京、仙台から女性だけを連れてくる企画もある。一回だけの機会ではダメ。その後どうなっているか追いかけてみる必要もある。東京のコンサルタントに地方の婚活を見てもらふことも必要だと思う。市政調査会で、少子化について話し合いを行うよう、議長副議長に申し入れしている。	
	姉体地区センター	結婚したら税金を免除する仕組みや、子どもが生まれたら祝い金を出すとか、思い切った方策が必要ではないか。	市長は、総合的な施策を打っていかねばならないと言っている。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	姉体地区センター	上姉体にマイナネタウンがある。若い人が多く増えるためにも、条件を緩和して住み着くような方策を取ってほしい。	市でも目標を定めて努力している様だ。	
3	岩谷堂地区センター	24歳の孫から話しをして欲しいと頼まれた。2歳と8ヶ月の子どもを保育園に預けて夫婦共働きだが、子どもが病気がちで病院にばかり通っている。家計も苦しく児童手当を上げて欲しい。	300項目の事務事業見直しの中に乳幼児医療費補助等の見直しが含まれているが、見直すべきではないとの意見をしている。厳しい財政状況ではあるが、少子化解消のためにも努力していきたい。	
		孫(24歳)の同級生に話しを聞くと結婚しているのは3割位とのこと。なぜ結婚をしないのか聞くと「出会いの機会がない」とのことだった。若い人たちの出会いの場をもっと作って欲しい。また、仲人は現在も欲しいと思う。	結婚し安心して子どもを産み育てられるというのは市の最重要課題でもあり、そうした予算は厳しい財政状況でも確保すべきであると各議員は考えている。	
		子どもに金が掛かるのは18歳まで、それ以降は納税者にもなる。少子化ファンドのような仕組みを作り、思い切って金を掛けてもいいのではないかな。	意見として伺う。	
		首都圏に流出した若者を揺り戻すためにも、首都圏に向いて奥州市のアピールや出会いの場を提供する事業を積極的にする必要があるのではないかな。奥州市内だけでは進展していかない。	必要なことであり、ご意見を参考としながら提案をしていきたい。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
3	岩谷堂地区センター	<p>人口減少時代の中で、奥州市はどのような形で生き残りをしているのかイメージが全く伝わってこない。国は観光立国を進めているが、観光により交流人口が活発になれば、出会いの場や定住にも繋がるのではないかと。そういった意味でも観光振興は重要な施策であると思うが、奥州市として観光振興にどのような展望を持っているのか。人口減少時代の中で、奥州市はどのような形で生き残りをしているのかイメージが全く伝わってこない。国は観光立国を進めているが、観光により交流人口が活発になれば、出会いの場や定住にも繋がるのではないかと。そういった意味でも観光振興は重要な施策であると思うが、奥州市として観光振興にどのような展望を持っているのか。</p> <p>特に胆沢ダムは全国の中でも魅力的であり、観光面でも大いに可能性がある。</p>	<p>市当局も議会も胆沢ダム周辺は観光事業に大いに力を入れるべきであるという認識である。行政だけではなく、民間の力も活用しながら大きな観光資源となれるように様々な意見を出して参りたい。</p>	
	田原地区センター	<p>人口減少をどうしたら止められるかということ市役所や議会で話しをしたことがあるのか。昔は部落に仲人をやる人がいたが、今は中々そうもいかない。結婚業者もあるが、お金ばかり取られるのではないかと心配で話しに乗ることができない。</p>	<p>議会全体で話しをしたことはないが、議員個人や各会派内で問題意識を持ち話しをしている。市においても人口減少対策組織を立ち上げて施策を進めたり検討をしてきたが、効果ある具体的な対策を作り出せていないのが現状である。議員からも効果ある対策を提案していきたい。</p>	
		<p>地元で安定した職場があれば、若い人たちの定住に繋がると思う。しかし、東北北3県は賃金が安い。賃金実態調査において各企業は現状より安く申告する傾向にあり、地元建設業の積算でもそうした物価を参考にするため、どこまでも安くなってしまふ。こうしたことを行政で指導をして欲しい。</p>	<p>安定した職場は全ての基本であると認識している。意見として伺う。</p>	
		<p>胆江新聞で金ヶ崎の記事が多く、奥州市の記事は少ないように感じる。人も金ヶ崎に集まるのではないかと感じてしまふ。</p>	<p>同様に感じる。</p>	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
3	田原地区センター	小中学生の数が減っているからなのか、振興会から要望を出しているが歩道整備が中々進まない。議員からも通学路整備の応援をお願いしたい。	意見として伺う。	
		新成人に対して「彼女がいるか」との問いに、「いる」と答えたのは10数%と少ない数だった。これは、引っ込み思案の若者が増えているからではないかと思うが、誰かが仲人のような世話をしていかなければならないのではないか。人口が増えるのであれば市にプラスにもなることから、予算がかかるとしても多少どこかを削ってでもやるべきである。また、市でも婚活をやっているが、PR不足ではないか。	フォローが必要な若者が増えていると感じている。地域全体で仲人のような声かけをしていく必要があるのではないか。市内で様々な団体で婚活を行っている。開催情報は市のホームページに掲載したり、団体によっては新聞広告でお知らせしたりしている。	
	古城地区センター	葛巻町では、人口減少対策をまちづくりに繋げているとの説明を受けた。全国的な人口減少の中で、奥州市に住みたいと思わせるまちづくりが重要課題であるが、保育料や医療費の問題等、将来に希望を持ってない状況では、子ども達にもこの市で生活して欲しいとは言えない。財政が厳しいのは分かるが、教育や福祉を充実し、現役世代・子育て世代が安心して暮らせるようなまちづくりを協力して進めて行くことが必要ではないか。	この提案に応えることが議会の役割である。この問題については、議会全体として市側に常に訴え続けて来たとし、これからも要望し続けて行く。財政が厳しいのは事実である。教育や福祉を充実して行くためには、財源を違う切り口で見つけて行かなければならない。今後も財源の確保に向けた取り組みを続け、市側の考えを変えるように努力して行く。	
水沢南地区センター	奥州市の平成24年の人口動態で400人ほど増えており、欄外に外国人を登録したと注記があるが、それだけか	その通り		
	人口問題は、結婚・出産・育児にお金を使わなければならない。助成制度の充実や保育料の無料などを実施し、安心して暮らせるようにすべき	300項目の見直しに示された医療費助成や保育料の無料化の廃止については、議会としても強く訂正を求め続け、今回公表された個票では若干要件が緩和されている。今後も、さらに現役世代に配慮した施策の充実を求めて行く。		

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
3	水沢南地区センター	人口減少対策について、企業の協力を得ながら新卒者の就職環境の改善に取り組むとか、若者が参加する環境づくりの整備や、結婚できる環境づくりなどが必要であるが、議員や市当局が具体的な対策をどのように考えているのか	人口減少については、複数の原因が複雑に入り組んでおり、特効薬は無いと認識している。今できること一つ一つに取り組んで行くことが大切と考えている。市側としても、対策本部を立ち上げ、体制の整備を行っている段階であり、具体的な計画を立てられない状態である。若者の意見も取り入れるべきと思うし、地域の皆様と一緒にあって、地道に課題解決に取り組んで行きたい	
4	黒石地区センター	人口減少は最大の問題。水沢が金ヶ崎のベッドタウンにならなかったのは住宅政策のまずさではないか。何か思い切った手は打てないのか。	ご指摘の通りと思う。何か無いか持ち帰って協議してみたい。	
	前沢地区センター	胆沢の人口はあまり減らないがその要因は。水沢の街区の空洞化が進んでいるがその対策は。出会い創出事業の状況をどう考えているのか。	今は議会報告の項目なので、後ほど懇談のところで話をしたい。	
	胆沢愛宕地区センター	人口減少を止めるには子どもの医療費全額免除等を打ち出ことが大事。今それに逆行することが進められようとしている。	県内では、中学・高校まで無料化をしているところもあり、子育てを充実すべきと考える。	
	梁川地区センター	いかにして人口を増やすか。重要なのは自然増。一緒に考えようという発信が必要。市民運動として盛り上げていくべきではないか。	出生率は上がっているが増やしていくのは難しい。子育て環境・雇用問題が課題と思う。さらに施策を進めていきたい。地域の方々の前向きな姿勢は感じている。地域を守るとい議論をおこしていきたい。	
		市内の独身の結婚適齢者は何人くらいいるのか。空き家はどのくらいあるのか。	全国的には20代で3割と言われているが、市内の数値は把握していない。30代から50代の未婚者が多くなっている。空き家バンクへの登録は20件くらいだが、実態はわからない。これから大きな問題になると思うので実態調査が必要になると思う。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
5	北股地区センター	国策の関係で企業が海外へ行ってしまっていて、地方への進出が減少している。日本の人的資源が海外へいつてしまっている。	一市町村で解決できるものではなく、全体(国)で対策を考えないと・・・	
		人口減少と若者の流出 老人世帯が多く、数年で人がいなくなってしまう。企業誘致等をしてほしい。限界集落そのもの、機械農業が出来ない。	同様の考えを持っている。正規雇用をする会社を増やしていきたい。	
		婚活について 男性がリードしてくれない。女性も何を話してくれるかわからない。交わる状況づくりが必要でないか。父子家庭、母子家庭が多い。	携帯電話等の普及により、コミュニケーションの取り方が変化してきているのではないか。ひとり親家庭が多く家庭環境が変化してきている。	
	生母地区センター	人口減少問題 地元に残るメリットがない。若い人が働く場所の確保を。若い人が意欲を持てる未来づくりがほしい。	今後の大きな課題である。	
	江刺愛宕地区センター	中山間地より当地区へ移住する人が増えている。他市へ流出しないように援助できないか。	人口対策として、検討しなければならない。	
		(地域に)独身者が多い。(都会から)戻ってこない。仲人がいなくなった。企業の海外進出で、働く場所がなくなってきている。	若い人が戻ってこれる施策をしている。若い人がアクションを起こすことが必要である。婚活では、出会い後のフォローが重要である	
佐倉河地区センター	若い人たちが使いやすい多目的施設—例えば楽器が使える部屋、小会議室等—がほしい	要望として承る。		
	人口減少問題について、今まで対策を講じてこないのか。	定住化対策として、子育て支援や企業誘致をやっている。		

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
5	佐倉河地区センター	働く女性が増えるよう、子どもを預ける所を増やし、待機児童をなくすべきでは。待機児童数はどれくらいか。	認定子ども園を増やし、保育定員を増やす。保育士の仕事環境が厳しく、保育士が不足している。この問題に行政はもっと関与すべき。高校に保育科をつくるべき。	
		独身者が多いので、集団婚活すべき。都会には農業をやりたい女性が多い。「地域おこし協力隊」利用を要望したい。	仲人が減少している。正規雇用が少なく、一人生活者が増えている。	

総務常任委員会に係る意見、提言等

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	若柳地区センター	空き家に移住者が移り住んでも、草刈りもしないので周囲が困っている。手放しで喜べない。	空き家バンクで空き家対策をやっているが、都市で定年退職したような人が応募してくる。市でほしいのは若い人だが、高齢者ばかりが移住してくる。	
		合併後、庁舎の空きスペースが物置になっている。もっと有効利用を考えるべきではないか	庁舎の空きスペースの有効活用は、市民の皆さんのアイデアを寄せてほしい。	
	衣川地区センター	衣川支所の建設に関して、市側は1億8千万の提示だが、震災復興という点から、やるべきことをやっていれば、4億を超える予算が準備できた。1億8千万のうち、電気関係の機材もあり、それは診療所での用途のものである。1億数千万という金額は、地区センターを立てる程度のものである。	地域との合意が第一であるとの考えが議会で示されていた。12月議会でも取り上げ、質していきたい。	
		支所の建設は衣川の心臓にあたるもの。きちんとしたものがほしい。地域の合意はできている。この3年間訴え続けている。		
		予算はこれだけだから、ということではなく、衣川のシンボルになりえるものを、歴史と文化の薫る建物をつくってほしい。		
	稲瀬地区センター	地区センターの指定管理になれば、職員を下げられ、予算もなくなる。70歳前後の人がパソコン打って、企画を立て、やっていけるかどうか。自立を目指してと言われてもできるかどうか。	どこでも困って、頭を悩ませている。財源の手当てには必要ではないか。地元で次長クラスを見つけよというのは厳しいと思う。	
		庁舎の空きスペースが目立つ。有効利用できるようにアイデアを出すべき。江刺の庁舎に県が入ってくことに賛成である。議会はどうなのか。	議会としては改選前に請願採択しているところだ。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	藤里地区センター	<p>大学誘致については、いつの間にか立ち消えとなった。人口増加の手段として大学誘致は必要だ。ILCに関心を持ち、そういう分野を学びたいというような声もある。行政が関わらなければだめだ。人口減少を真摯に受け止めて具体化した取り組みをお願いする。</p>	<p>大学誘致は、前相原市長のマニフェストにあり、取り組んだ時期もあった。総合的に見て巨額の前算を持ち出し出来ないとして立ち消えになった。ILCでは、中学生に対する出前講座をやっている。関心を持つ子どもたちが増えていくことも大事だと思うので応援してほしい。</p>	
		<p>合併して8年8ヶ月経ったが、この合併は何だったのか。人口減少が進み(毎年1000人づつ)色々落ち込んでいる。奥州市にはビジョンがない。支所も縮小されている。大胆な施策をしていかないと他の市町村に負けてしまう。大きなビジョンを持ってほしい。</p>	<p>合併時には、色々と諸条件があった。合併すれば交付金をやるよ。しなければ減らすよという中で合併した。ここにすれば戻ることはいできない。H33年以降は33億円の交付税が減らされるということだ。この間、市でも職員の1/5採用、第3子の保育料無料扱いなど色々取り組んできた。皆さんの声をよく聞き、力を借りながらなんとかやっていきたいと感じている。自分たちがイメージしたものとは違っていると感じている。ビジョンがないことは残念だ。市長は、金を貯めていくことと30地区の個性あるまちづくりを進めている。</p>	
	小山地区センター	<p>300項目にわたる公の施設・事務事業の見直しのうち、胆沢区に関係するものはどういふものがあるか。</p>	<p>すべてにわたって胆沢区の方々に関係するものだが、特にも胆沢に関係が深いものとしては、ひめかゆ温泉、スキー場、胆沢市民劇場の運営、体育館、焼石マラソン、駅伝、文化創造センターの施設のあり方等々、思いつくだけでもこれくらいある。さらには農業部門では、堆肥化施設、胆沢牧野などがある。また、高齢者に係るものとして老人クラブの補助金をはじめ、補助金のあり方、ディーサービス事業、患者輸送バスのあり方などあらゆる分野にわたって見直しがされる。必ずしも廃止というものではなく、民間にできるものは民間に運営を移譲するという、運営のあり方の見直しが殆どである。</p>	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	姉体地区センター	市長は300項目の見直しを進めるといっているが、決定したことか？財政が厳しいのであれば、市営住宅を縮小してはどうか。また、1戸建て住宅のオーナーを見つけて売ってはどうか。	300項目については、具体的な話はこれからだ。市営住宅は、一定程度維持確保する考えだ。オーナー制度については当局にも伝えておく。	
		まちづくり交付金のおかげで、郷土づくりが各地域で動き出している。28年度から減額されるのはどうしてか？動き出した地域づくりが失速するのではないか。緩やかにランディングするように、議員に動いてもらいたいので、期待している。	市の支援がないと立ち行かないという声を、私たち議員に伝えてもらいたい。地域でも応分の負担をしながら、市からも援助してほしいというスタンスが必要と思う。	
		市長は積み立てを増やすことばかり話しているが、市の借金は何年で返すのか？それを市民に周知しているのか。全て積立金でなくて、半分は積立で、残りは国保に回すようなことはできないのか。	行政は毎年のように財政計画を見直して、借金をしながら事業をやっている。半分使えないのかという点は、意見として伺っておく。	
	衣里地区センター	決算書の実質収支額3億5216万円はどこへいくのか？収入が少なくなるのだから、事業の縮小を要することは分かるが、縮小するものの序列は付けなければならないのではないか。市長が決めることだろうが、議会は市長に対する対案はあるのか？市長から出されるものを承認しているだけではだめではないか。議員がバラバラにパフォーマンスをするのではなく、一丸となって、きちんとした対応をどうしていく—ということを広報で示してほしい。	黒字になった部分は、積み増ししているということで、現在財政調整基金に64億円ほど積んでいる。	
		① 高齢化に伴う無縁仏の問題が起きている。ただ、市の職員を減らせばいいという問題ではないと思う。どういう形で職員を減らしていくか、予算配分をどのようにしていけばいいのかを検討してほしい。	検討していきたい。	
		衣川総合支所を早期に建設してほしい。	今回要望として出されたことは、議会の中でも伝えていく	

班	会 場	質問、意見、提言等	回 答 (説 明)	処理(調査・回答等)
3	田原地区センター	決算が黒字になっているが、その要因を議員はどのように分析をしているか。	執行部側が様々な予算を縮小してきたことが一番の要因であると認識している。	
		ILC誘致は賛成である。しかし、放射能の最終処分場としては大反対である。そういう考え方にはならないようお願いをしたい。	そういう考え方はないと聞いている。	
	古城地区センター	地方創世法案は出産・子育て環境を整え、地方の雇用創出を基本理念とし、新たな交付金の創設を謳っている。国と地方が手を携えて行こうという流れに、奥州市はどのように取り組んで行くのか検討して欲しい。	ご意見を生かし、議会で検討して行きたい	
		総務省は、合併特例交付税の6割維持を検討しているようだが、それであれば現在進めている行政改革の見直しが必要ではないか。	ご意見を生かし、議会で検討して行きたい。	
		現在の市職員は、情報報酬収集能力が低下しているのではないか。また、中央とのパイプ作りにも欠けているように思える。中央からリーダーを派遣してもらい、職員の研修を強化するなど、太いパイプ作りと職員の能力の向上を図るべきではないか。	ご意見を生かし、議会で検討して行きたい。	
		副市長の問題について、県や国から派遣してもらいようにすべきである。	持ち帰り、市当局に報告する。	
		地区センターの指定管理について、その地域の振興会に委託したいようだが、盛岡市ではその制度の限界を認め職員を配置する方向に戻している。職員を配置し、地区センターの充実を図るよう検討して欲しい。	ご意見を生かし、議会で検討して行きたい	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
3	古城地区センター	奥州市に大変な借金があるというが、その原因は何か。これほどのことを、何故放置しておいたのか。	合併前の旧市町村時代の借金と、合併後にも積み重ねた借金である。今はこれ以上の借金を増やさないよう、削減するように努力を続けている。スタート時点の話で議論するのでは無く、今後のことを考えた議論を進めて行くべきだと考えるので、ご理解をお願いしたい。	
	水沢南地区センター	人口減少は奥州市だけでなく全国的な問題であり、国全体で考えるべき問題だが、奥州市は特に深刻であり、財政が夕張の二の舞になる可能性もある。やはり、職員の人件費削減をもっと進めるべきではないか	夕張に二の舞にならないように議会でも取り組んで行きたい。東京集中と言われるが、東京も単身率と合わせ高齢化も深刻な問題となってきている。国政の問題でもあるが、奥州市も真剣に取り組んで行くべきと考えている。	
		職員の採用と削減はどうなっているのか	奥州市は退職者の5分の1採用に取り組んでおり、一定の効果を上げている。不足分を臨時採用で補充している状態だが、人件費が増えすぎないように注視して行きたい。	
		ILC誘致によって、奥州市がどのように発展するのか、まちづくりのイメージがわからない	具体的なまちづくりの設計図は未だ提示されていない。現在は、国の方で可能性を探る調査・検討を始めたばかりであり、建設費用の問題等、外交的にクリアしなければならない課題は多い。奥州市長を始め、県知事及び県内の市長・議会でも国会議員等に積極的に働きかけている最中である。ILC誘致が実現すれば、確実に奥州市が潤うことになるので、議会も特別委員会を設置し、精査しながらさらに働きかけをして行きたい	

班	会 場	質問、意見、提言等	回 答 (説 明)	処理(調査・回答等)
4	黒石地区センター	働く場所が水沢には無く子育ては困難。ILCは希望なので大いに運動してもらいたい。	声を大きくして国に働きかけることが大事。市の基幹産業である農業をどうするかも大事。真剣に議論していきたい。企業誘致は団地等を造成し誘致しなければならない。ILCは特別委員会を設置した。議会は議員連盟を作って運動していかなければならない。県内、東北、オールジャパンの体制で頑張っていきたい。ILCの効果が出るまでは長い時間が必要。その間をどうしていくか真剣に考えなければならない。皆さんの知恵や指導をお願いする。	
		前沢の旧小学校について、何らかの指定管理者を活用するなどの有効な活用を考えてはどうか。	そのためにはアイデアが大事だと思うので、知恵を出し合って活用策を考えていく必要がある。地元で相談はしているがよい知恵が出ていない状況である。	
		投票所の在り方について、バーコードの利用等によりどこでも投票できるようにならないのか。	選挙管理委員会に確認しなければわからない。	
	前沢地区センター	副市長を早く設置すべき。他の地域からもしくは女性でもよいのではないか。	市長が任命権者であり、今はわからない。要望として承る。	
	胆沢愛宕地区センター	合併特例債は平成27年度で終わりか。市の財政が厳しいことについての関わりは。	合併特例債は起債枠の半分くらいしか使っていない。市では約700億円の借金残高がある。借金の割合は県内でも1・2番目に悪い方である。	
		旧市町村の持ち財源はそれぞれで使用されてきたと思うが、その経過と残りの状況は。	合併時にルール内、ルール外という分類で使ってきたもの。ルール内を出し合って残ったお金をルール外として使おうというものだった。ルール外をどう使うかは地域協議会で協議して決めて平成27年度までに使うこととなっているもの。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
4	胆沢愛宕地区センター	国体で胆沢がカーン会場となるが、使っていいか知らない人が多い。早めに利用できるようにしてほしい。	国体の担当に聞いて回答する。	12月8日付で回答
	梁川地区センター	駅前駐車場の売買について、行革を実施している中でそんな低価格で売買してよかったのか疑問。	きちんと説明されるべきと考える。	
		インフラ整備を行政が持ち出しでやるのは過去のこと。これからは自分たちでアイデアを出してやっていくべき。	要望として承る。	
5	北股地区センター	協働の街づくり事業は今後も継続してほしい。	要望として承る。	
	生母地区センター	旧赤生津、生母小学校の体育館は使用料一時間200円もらっているが、他では無料である。無料で統一できないものか。	要望として承る。	
		ILCの現状はどうか。	関連都市とのまちづくりを考えなければならない。	
		小学校跡地の管理は振興会で行っているが、管理経費が掛かるので市に支援を要望する。	要望として承る。	
	江刺愛宕地区センター	江刺総合支所の建物を活用してほしい。	県南振興局との交換案もあったが、進んでいない。	
		江刺の庁舎を本庁に、水沢の庁舎を振興局にしてはどうか。	より良い使い方を考えていきたい。	
	佐倉河地区センター	水沢江刺駅発着の観光循環バスがほしい。	要望として承る。	
		現在の行政や財政は、削るばかりで、夢がしばむ。残念でならない。	市民の声をもっと聞いて、見直しに対応していく。	

班	会 場	質問、意見、提言等	回 答 (説 明)	処理(調査・回答等)
5	佐倉河地区センター	ILCについて、国、県への推進を進めてほしい。	要望として承る。	
		平成25年度の財政規模は450億円位だが、財政の見通しは大丈夫か。	行革していく。10年後を見通してやっていく。	

教育厚生常任委員会に係る意見、提言等

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	水沢地区センター	水沢公園の運動設備は中途半端である。ラジオ体操に行っているが、その時だけ人がいる。日中は誰もいない。体育館はそれなりに使われているが、野球場も半端で使えない。なんとかならないか。	運動施設なども老朽化しているので、今、見直しをしている。我々が気がつかないでいることも多いので、情報を寄せてほしい。	
	衣川地区センター	衣川ではヘルパーをやめた。水沢や一関から派遣してもらっている。距離が遠くて、ということを言われている。	岩手県では、訪問介護は赤字になる。他部門が黒字だからやっているといるが、訪問介護だけでは採算がとれない。	
		国保、県で2番目に高いのは事実か。	事実であり、14市の中で一番高い。今、17億の積み立てがある。医療費も見通しよりも上がっていない。被災3県に国保が大変だろうということで、3億円が3年間限定で交付税措置されている。	
	稲瀬地区センター	三大マラソン。一つにまとめるこの機会に1万人を超える規模のものができればと思う。産業振興にもなるように思う。	前沢マラソンの際、子どもたちからこれから出れなくなるという声結構あったそうだ。建設的、発展的に規模が大きくなることであれば受け止め方は変わってくるのかと思った。個人的には、スポーツ振興をどうするかは必要かと感じた。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	藤里地区センター	<p>国保税は県下一高いと聞いた。決算を見ても結構余っている。その引き下げについて議員はどう考えているか。当地区にも年間50から60万円の税金を納めている人が多い。いずれも高齢者の世帯で年金はもらっているが生活は苦しい。余っているのであれば10万でも少しでも返してもらおうのがいいと思う。</p>	<p>一部の議員から出ている話だと思っている。2年前に国保会計が厳しい状況のため7億円ほど繰り入れられている。インフルエンザが流行ったとすると一気に給付費が上がる。国保税は最後の砦であり、今、基金がいっぱいあるからといってすぐに引き下げることはないかと認識している。基金がたまっているので下げるべきと思っている。国保会計の基金積立は17億ほどになっている。消費税も上がった。年金は下げられる。そういう暮らしが大変だという時こそ、単年度収支の国保税は掛けやすい形にすべきでないか。議会にはいろいろな意見がある。国保会計の決算については、殆どの議員が賛成し認定することになった。どちらの意見も正しいと思うが、最終的に数の多い方に決めたものだ。基金が17億円ということで、あまり貯め過ぎていると見るか、将来を見据えて国の基準から見るとまだ貯めていくべきという人もいる。単年度収支だから、余ったら翌年下げると人もいるが、それでは会計が安定しないのでできない。一般会計においては、平成33年になると定期を取り崩していかなければやっていけなくなる。その辺は理解してほしい。</p>	
		<p>当地域の文化財「毘沙門天(びしゃもんてん)」をPRしてほしい。観光コースの中に入れてもらいたい。</p>	<p>教育委員会で遺跡とか文化財のリストアップをしているので、活用について提案があったことを伝えておく。</p>	<p>教育委員会歴史遺産課に伝達済み。</p>
	<p>奥州市の国保税は県下一高いと聞いた。決算書を見ると6億円ほどの余りがある。以前からの余りも合わせたら相当の額で、国保税を引き下げることができるのではないかと。</p>	<p>議論は様々あるが、現在の議員の判断は、引き下げるべきであるが5人、下げるべきでないが20人である</p>		

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	姉体地区センター	今後、国保は県で一本化されると聞いている。市町村が持ち込む基金に余りが出たとき、一般会計に繰り入れできないはずだがどうするのか？	基金は、一定程度持ち込むことになるようだが、余ったお金については、当局も今は答えられないとのことだった。	
	衣里地区センター	伝統芸能を守っていくには、発表の場を設けることだ。補助金の削減が続く、芸文協(芸術文化協会)の活動も首が回らない状況になっている。ただ、補助金を削ることのないよう、行政のやり方を議員は監視してほしい。	要望として伺う。	
3	古城地区センター	前沢診療所の再開に向けた医師確保の状況について教えて欲しい。	前沢診療所の再開については、議会として機会がある毎に進捗を確認している。市長始め市側も早期の再開に向けて、医師確保を進めているが、なかなか難しい状況であるが、遅くとも来年4月からの再開を市長も約束しているので、様子を見守るとともに、議会として支援して行きたい。	
		市内の公立病院でも医師が辞めて行っているようだが、医師確保は大丈夫なのか。	確かにその通りだが、全国的に整形外科などの医師が減っている状況であり、難しい状況である。	
		統合胆沢中学校建設予定地において、不法に投棄された産業廃棄物等が見つかったと報道があったが、どのような状況になっているのか	投棄されていた廃棄物の撤去・処分については、法的措置等も含めて検討中である。費用の概算はまだ不明であり、方針がまとまり次第、市側からの報告を受ける予定である。この問題で工期を遅らせるわけにはいかないため、建設工事は並行して進めて行く。	
		三偉人の記念館を始め、市の博物館などに市民パスを導入してはどうか。	市営の施設に導入が可能かどうかも含め検討してみたい。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
3	古城地区センター	前沢診療所の休止に伴い、通院していた患者にアンケートを採ったようだが、再開によって戻るかどうかを聞くなど設問に問題があったのではないかな。	患者の動向把握を求める質問・提案に基づきアンケート調査を行ったものと理解しているが、議会として結果の説明は受けていない。調査した上で、回答したい。	健康福祉部長に照会し、地区センター長に回答済。
		前沢診療所の再開について、市当局の動きが見えてこないのが不信を募らせているのではないかな。市側の動向が見えるようにしてほしい。	できる限り、動きが見えるように市当局にも説明を求めて行くし、議会としても説明の機会を多く持つように取り組んで行く。	
	水沢南地区センター	保育料や幼稚園の費用が値上がりすることは、人口対策としてはおかしいのではないかな	来年より子育て支援制度の導入により、市内施設が統一料金で運営して行くことになったため、所得に応じた負担をお願いすることになった。奥州市で設定した負担金は、国基準よりかなり低く抑えられており、今後の説明などで理解をお願いして行きたい。	
		三偉人館の管理状態が悪い中、観光客を増やそうとしても無理ではないかな。予算が無いと言われ、地元住民に管理を押しつけるばかりのように思える。市内の公園の管理方法等も含め、市側の対応の改善が必要	全くその通りである。地域の課題として、公園整備や施設管理について市側に強く働きかけて行く。人口減少に関わる交流人口対策に重要な課題であり、三偉人館の統合等、財政問題も含めメリハリのある施策を行うよう働きかけ、努力を続けて行く	
4	黒石地区センター	スクールバス更新の内容は。	胆沢区でエアコンのないバスなど地域の元気交付金を利用して新たに更新するもの。	
	胆沢愛宕地区センター	結婚をすること。子育ては無償にするなど、子育て支援に力を入れる必要がある。	その通りと思う。皆で真剣に考えなければならないし、このような場をつくり、ひざを交えた議論が必要。	
国保税はとて高額。ぜひ下げてほしい。		国保税は確かに高いが医療費は県内でもそれほど高くはないので、引き下げてほしいと思っている。国保の中で基金を何年で使うかという計画も作るべきだと思うので、もう少し様子を見てもいいかと思う。これは両論が考えられるということで許してほしい。		

班	会 場	質問、意見、提言等	回 答 (説 明)	処理(調査・回答等)
4	梁川地区センター	子育て支援の補助をなくすのは後退。もっと前向きな施策の提言してほしい。	市には子育てするなら奥州市でという気持ちでやってほしいと考えている。	
5	北股地区センター	衣川診療所問題 「衣川」で入院できる場所が必要。介護する者の利便性を考えてほしい。市民の利益になるような考え方を。	平成27年度から医療局体制が始まる。看護師不足の問題もある。	
	生母地区センター	学校が大きくなったが、学校で思うようにあそべない。校庭でも限られる体育館でも思うように遊べない。冬になると通学バスが混み合うのではないか。増便はできないか。	スクールバスの増便要望が実現した。	
		スポーツセンター、グリーンアリーナが廃止される予定と聞くが、各区一か所にするのは疑問である。前中体育館、地区センターを利用した場合の管理費助成をお願いしたい。	要望として承る。	
	江刺愛宕地区センター	(子ども子育て支援新制度で)保育料は高くなるのか。	市立幼稚園の場合、所得額によって、保育料が高くなることもある。	
	佐倉河地区センター	3偉人記念館はひとつにするべき。	要望として承る。	
国保税引き上げの時の市の説明会で、積み立てをする説明がなかった。年金生活で、国保税が高く、負担が大きい。		平成25年度決算で、国保特別会計には、引き下げ可能な積立金がある。		

産業経済常任委員会に係る意見、提言等

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	水沢地区センター	観光名所といわれる場所のトイレが汚い。気持ち良く使えるトイレ設備がほしい。骨寺のセンターのトイレは良い。	江釣子のパルで店舗改装したが、パルのトイレが立派なので、ジャスコの店員もパルのトイレを利用している。トイレは非常に大切である。	
3	古城地区センター	水沢東バイパスの道路沿いに、道の駅を設置してはどうか。	国道沿いの道の駅は石鳥谷ぐらいであるので、市の方にも提案して検討してみたい。	
	水沢南地区センター	非正規雇用者が全国で1,900万人以上に上り、40歳未満に増加していると言うが、これでは結婚・出産に結びつかないのではないかと。正規雇用対策で収入を安定させるべきではないか	雇用の実態は議会でも注視してゆきたい。社会全体として、結婚できる雰囲気・環境づくりも必要だと思うので、そちらの方も取り組んで行きたい。	
4	黒石地区センター	黒石花卉センターの現状と活用について	IICでベンチャー企業が出てきたときの活用も考えられるのではないかと。政策の中で一定の策を見出し出していかなければならない。	
		厄年のお祭りを全国にPRし人を集めてはどうか。奇抜な考えで何とかしてほしい。	意見として承る。いろいろ議論していきたい。	
	胆沢愛宕地区センター	金ヶ崎は特徴のある施策を行っている。奥州市は何も特徴がない。農業問題を取上げる議員も少ない。農業振興を大事にしてほしい。農業基盤整備をしても受け継いでいく若者がいなければだめではないか。	指摘はその通り。何とかして基幹産業の農業を次の世代へつなげていきたいと思う。基盤整備をしないと農地を維持できない状況。中山間地独自の施策や担い手に任せられるような方策を考えるべきと思う。	
		水沢のまちは目に見えて衰退している。まずは観光客に来てもらう算段が必要。例えば、三偉人を売り出すとか胆沢ダムを活用するとか。何か工夫がほしい。	素材は多くあるので、どう加工していくかだと思う。東京では奥州市といってもわからない。東京とか関西での宣伝が大切。	
		スキー場も民間移譲が計画されているようだが、今ある施設を継続させていくことが大事ではないか。	要望として承る。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
4	梁川地区センター	この地域は後継者もいないなど深刻な状況。今後の中山間地域の農業の方向性を示してほしい。	中山間地を特色あるものにしていけるようやっていきたい。行政だけでは難しいと思うので、皆さんの協力もお願いしたい。	
5	北股地区センター	「若者の働く場所」がほしいという声がある。共同作業のできる地域に。農業で生活できる世帯が少なくなっている。人口減少は社会全体の問題である。正規雇用でない働き方が多く、給料が少なく家族をやしなっていけない。	同様の考えを持っている。正規雇用をする会社を増やしていきたい。	
		スキー場、温泉を残してほしい。	要望として承る。	
	生母地区センター	月山キャンプ場は平成28年に廃止予定になっているが、人気スポットになっているので今後市で管理していくべきだ。平成22年度利用者 1,500人	要望として承る。	
		農林業の経営が成り立たない現状である。政策が求められる。	要望として承る。	
佐倉河地区センター	平成28年に農地集積に有効な農地流動化の助成金がなくなる。耕作放棄地の研究対策助成金を要望する。	農地集積については、中間管理機構が機能する。		
	魅力ある県、市づくりが必要だ。工業団地に元気さが無い。	地元合う業種がなく、戻りづらい。企業が進出しやすい環境づくりが必要。水沢IC付近などで農振除外して、土地活用を促進すべきだ。		

建設環境常任委員会に係る意見、提言等

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	若柳地区センター	異常気象で、空き家から物が飛んでくる。早急に空き家対策を講じてほしい。	今、国で空き家対策を検討している。空き家バンク事業を行政でやるのは効率が悪いということで、民間に移していく方向で検討されている。	
		東北油化問題で、死亡牛の処分に3~4万円もかかる。市の補助はあるのか。	現地を見てきて役員とも話してきた。改善する金がないということである。市の担当は臭気公害だけであり、あとは県の問題だ。これから県が中心となり改善を図ると思っている。	
	衣川地区センター	木の橋で老朽化しているところがある。生活道路で困っている所は、手当してほしい。	努力していきたい。	
	稲瀬地区センター	油化問題。残渣がまだ残っている。何とか善処してもらいたい。	県と市が一体となって取組んでいくようにと思う。住民、農家が苦勞することのないようにしたい。	
2	藤里地区センター	5区の一体感が醸成されていない。家庭ゴミが増加している原因は何か。リサイクルに出せるものが普通ゴミとして出されている。各区で分別の仕方が違っている。水沢区では空き缶は潰して出しているが、江刺区ではできない。水沢で仕事をしている人からどうして江刺ではできないのかと聞かれる。どのように統一しようとしているのか。	最も大きいのは紙だ。空き缶を潰す、潰さないについては、区によって取扱店が違うことによるものではないかと思う。これは確認してお知らせする。ゴミ袋については、指定ゴミ袋で統一されている。ゴミの有料化について提起しているが、市長は乗り気でない。処理料はいっぱい出す人には応分の負担をしてもらおうと安く済むことになる。空き缶を潰す、潰さないについては、地区センターを通じ回答する。	市民環境部生活環境課に照会、確認のうえ、藤里地区センター経由で回答済み。
	姉体地区センター	住宅リフォーム助成制度は、継続すべきである。1件10万円限度で、今年は70件処理されているが、まだ足りないと思う。	住宅リフォーム助成については、当局も見直しをしながらも継続していく考えのようだ。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	姉体地区センター	市内には、緊急時に救急車も入れない道路があるのに、胆沢区の奥の道路に金を掛けるのは何故か？優先順位があるのではないか。	確かに冬季間は誰も通らない。今放置すると途中でつくった道路が壊れていく。広域観光道路としてつくってきたもので、全予算の2%分が残っているだけで、一関側はできている。胆沢ダムもできた。元気交付金も入ってくる一となれば「やるなら今でしょ。」ということで議会も承認したものだ。	
		市債の中身を見ると、上下水道、農集排がウエートを占めている。これは今後も増え続けるのか。下水道、上水道を議員たちはどう見ているのか。	上下水道は整備するときに経費が掛かる。巨額なので借金をして工事後、返していくという方法を取るの、この借金が続くことになる。	
	衣里地区センター	ゴミの減量化について、今後は大人のオムツが増えてくることが考えられる。うまく処理している自治体があれば、議員も視察してきた方がいいと思う。	大人のオムツについては、ご意見として伺っておく。	
		立派な地区センターができたが、防火水槽はできなかった。火災の消火、地震等災害時の両面で使用できるよう防火水槽の設置を望む。	防火水槽の設置については、担当部へ伝えておく	市民環境部危機管理課へ伝達済み。
3	岩谷堂地区センター	えさしクリーンパークは27年度末で終了し熱源確保ができなくなる。しかし、この施設は、市民の健康増進や福祉、青少年育成などに重要な役割を果たしてきた。新たなエネルギー事業のモデルとして国にも働きかけるなど、永続的に施設を運営して欲しい。	根岸のプールを廃止するときに、クリーンパークを代替えにすることで廃止した経過もあることから、熱源が無くなるからということで廃止してはならないと考えている。	
		また江刺が新たな産廃処分場候補地になっていることは青天の霹靂である。決して歓迎される施設ではなく、なぜまたこの地区なのかを大いに質して行かなければならないと思う。議員にも強い関心を持ってもらい、いい方向に行くように対応をお願いしたい。	来年3月末までに選定するという時間的期限もあることから、近々江刺でも説明会があり皆さんのご意見を伺う機会がある。県に質すことと共に、市がどう考えるかを聞きながら皆さんと考えて参りたい。	

班	会 場	質問、意見、提言等	回 答 (説 明)	処理(調査・回答等)
3	岩谷堂地区センター	岩谷堂で一番困っているのは東北油化の問題だ。まだ70頭以上の死骸や残渣が残っている。カラスや熊も出たりしており、早急な処理をお願いしているが一向に進まない。議会でも力を貸していただきたい。	一刻も早い解決となるように議会としても努力していきたい。	
		水道料金の値上げの概要について教えて欲しい。水を安く買う努力はしているのか。料金値上げで住民に押しつけるのはおかしいのではないか。	(値上げの概要について説明)	
	田原地区センター	県の産業廃棄物最終処分場が終了するようで、今後新たに候補地を検討しているようだ。これまでの処分場は市にとってメリットがあったのか、デメリットだったのか。また、処分場が終了した場合、今のクリーンパークはどうなるのか。	温水プール他に多くの利用者があったことはメリットがあったのではないか。どこかになければならない施設であり、そういう意味では近郊地域に貢献をしてきたのではないか。終了した場合、クリーンパークの燃料代がなくなるため、引き続き出してもらおうよう市として要望している。	
		今までの最終処分場が、大きな被害もなく市としてメリットがあったとすれば、新たな処分場を作ってもいいのではないか。	意見として伺う。	
4	黒石地区センター	二渡の堤防が通学路となっているが、国交省では除雪してもらえないので、お願いしたい。	持ち帰り確認の上、地区センターを通じて回答することとする。	12月1日付で回答。
	梁川地区センター	えさしクリーンパークについて今後どうなるのか。存続をお願いしたい。	クリーンセンターは平成33年で満杯となる。埋立て終了予定の平成33年度まで重油の熱源供給が出来るよう県と交渉中である。	
		釜石横断道の関係で車の往来が多くなってきており、迂回路を要望している。地域の活性化を皆で相談しているので、力を貸してほしい。	議員が一般質問で取り上げている。皆で運動していく以外にない。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
5	北股地区センター	胆沢の中沢—衣川外の沢線についてなかなか進まないが。	外の沢線は3年で工事を完成させたい。消防車、救急車、緊急車両が通れるようにする。	
	江刺愛宕地区センター	通学路の安全対策について。信号機を設置してほしい場所がある。	地区の要望として、提出されているのは承知している。	
		稲瀬の新しい地区センターには、防災設備が見当たらない。避難所としては疑問がある。愛宕地区の避難計画の実効性は。	要望として承る。	
		胆沢区の「谷子沢南前川山線」について、交通量が少なく「山菜道路」だ。さらに、「久田前田中線」の完成で、街中が活性化するのか。かえって、流出すると思う。それよりも、地域の道路整備をしてほしい。	要望として承る。	
佐倉河地区センター	汚染土の処理について、市が主体となり、国に働きかけてほしい。	要望として承る。		

議会に対する意見、要望等・その他

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
1	若柳地区センター	議会だよりの視察についての感想は。	視察の成果として、字数のばらつきを無くし、色使いも変えた。次頁の予告なども入れ改善を図っている。	
	水沢地区センター	議会にもたまに行って見る。議会だよりは分かり安くて良い。	議会だよりは全て議員が作っている。先進地視察にいたりして、良いものを作ろうと努力している。	
	稲瀬地区センター	議会改革。市民には中身が伝わらない。内向き。鈍いという印象だ。	改選後の議会改革はこれから始まるころだ。市民に伝わるようにしていきたい。	
人口問題、高齢化の問題。議会が総力で取組んでほしい。また、情報交換しながら、方向性を早めに検討して指導してほしい。		しっかりと取組みたい。		
2	藤里地区センター	この懇談会は統一見解を述べるために来ているのではないと思う。それぞれの立場で意見を述べるべきではないか。私は、金を貯めておくことが行政の本来の姿かどうかを議会にチェックしてもらいた。国保であれば短期保険証を持っている人もいる。そういう意味で引き下げについては賛成の立場だ。	旧衣川村がなくなっただけに相当する人が減った。以前は衣川の住民なんだからこの町を何とかしようと思う気持ちがあった。今は、どこでも奥州市なので町場へ出ようとか一関にある学校にいれようとか、子どもにいい環境でやらせたいという思いもあるだろう。定住化対策で人口増をめざそうとするにはインフラ整備は重要だ。	
		① インターネットで議会中継を見ている。議員の顔の映りがよくない。カメラが原因であるなら良いものに替えてはどうか。	庁舎が出来た時からのカメラと思われるので調査検討する。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
2	藤里地区センター	① 人口減少問題なり少子化問題なり、行政視察をしたか。どんなところを見て来て、市のどのような事に活用しているのか。	かなり視察には行っている。一つは静岡市。市の職員が婚活をやっている。年間を通じ10講座ぐらいを同じ人たちで実施していくという例があり、アンケート調査をやってその後の経過も把握しているとのこと。島根県の邑南町。ふるさとおこし隊。人件費を補助してもらって3年間住みついて地域活動を実践してもらう制度。市でもいろいろ取り組んでいるが、トータルとしてその成果が上がってこない。実績をカウントできない。目に見えてこない現状。行政の腰が上がらないのは、合併時にあった借金が尾を引いている。金がない行政に言っても何にもならないと思う。地域の課題をとらえ、この部分は行政でやってくださいと言っていないと難しい。出来る部分は自分たちでやるという姿勢がほしいのでは。	
	小山地区センター	議員はニュース解説してはダメ。住民代表として住民の気持ちや事情を把握したうえで、手を打たなければならない。私達の代弁をしてもらい、ちょっとしたことでも耳を傾けて頂きたい。	他市の視察等で学んできたことは議会でも話している。今まで何もしなかったわけではないが、言うだけではだめだとも思う。市でも「子育て環境No1プラン」を掲げていろいろやってきている。皆さんからの声を聴きながらさらに対応していきたい。	
	衣里地区センター	手厚く子ども達を見守っていくという地域の感覚が薄れ、若い層は金を借りても手軽で、てっとり早く育てようとしている現状にある。年寄りも年を取っても地域を愛し、子どもは地域にほしいと願っている。こうした地域性を頭に入れて、明確な保育・教育施策を持って、議員は市長に迫ってほしい。	保育園に子どもが集まる傾向にあり、幼稚園には子どもが集まらないということもあるようだ。議員も将来の姿を考えて行かなければならない。	

班	会 場	質問、意見、提言等	回 答 (説 明)	処理(調査・回答等)
2	衣里地区センター	少子化の原因は、正社員になれない、所得が確保できない部分にあると思う。国会議員に会った際は、状況を訴えてほしい。	近く選挙があるので、そういうことも考えて投票していただきたいと思う。	
3	田原地区センター	決算に反対した議員がいるが、どのような理由で反対したのか。	行革で乳幼児医療費や重度心身障害者医療給付などを削減対象としている中で、久田前田中線やスマートインターチェンジ等の大型事業を今やる必要があるのか。市が進めようとしている行革に意見の違いがあること等である。	
		議会だより第34号への要望 (1) P3の特別会計もグラフで表してもらえると分かりやすいのではないか。 (2) P3特別会計の内訳「国民健康保険(事業勘定)138億9」は「138億0009」という表現の方がいいのではないか。 (3) P3特別会計の表の一番下に、「合計(一般会計+特別会計)」と表記すれば親切ではないか。	意見として何う。	
	今年米価が大きく下落、消費税も3%上乘せとなり、自分には何も残らない。来年消費税が10%になると更に苦しい。賃金が上がらない中で、税金だけ上がることは大変に困る。TPP問題も含めて、議会からも政府に対して意見をしたい。	国に対する意見書の提出等など議会で出来る最大のことはやっている。引き続き頑張ってもらいたい。		
	古城地区センター	医師が奥州市で働きたくないという評判が立っている。根本的などころに問題があるのではないか。議会でも話し合っ欲しい。	議会として、課題の解決に取り組んで行きたい。期待に応えられるよう努力して行く。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
3	古城地区センター	9月議会で行政財産に関わる条例が撤回されたが、ジョイス跡地の売却に関わる問題等も含め、議会軽視の傾向があるのではないかと。議会のチェック機能を最大限発揮するよう努力して欲しい。	議会が一つになって行動できるような環境づくりが必要と考え、議会改革検討委員会を設置した。議員個人の資質向上も図りながら、市民の付託に応えられるよう議会全体として努力して行く。	
		ILC誘致について、中国も名乗りを上げたとの報道があったが、ILC実現に向けて政府へ強く働きかけて欲しい。	中国政府が名乗りを上げているのは承知しているが、世界的には日本の北上山地で揺るがない状況である。議会も特別委員会を設置しており、県議会や他市においても同様に設置して活動しており、今後は議員連盟の立ち上げも検討中である。平成27年度中に有識者会議の結論も出され、平成28年度中に政府方針も決定する見込みであり、国の推移を見ながら積極的に働きかけをして行く。	
		財政のことばかりを言えば、市全体が縮んで行ってしまうのではないかと。奥州市が魅力のあるまちとなるためのビジョンを、市長を始め、議員にも持って欲しいし、そのための議論を深めて欲しい。	一番に大切なことは、仕事の間を確保すべきだと考えている。意見を参考にして、議会での議論を深めて行きたい。	
水沢南地区センター	「議会だより」での予算・決算の項目が分かりにくいので、項目分類をもう少し詳細に表示して欲しい。特に人件費が何%を占めているのか分かるようにして欲しい	「広報おうしゅう」今月号に詳細の記載があるので、そちらを参照していただきたいが、「議会だより」においてもご意見を参考に取組んで行きたい		
	議員からの政策提案がどれくらいあるのか教えて欲しい	議員発議の件数をみると、奥州市においては全国的にみても提案数は多いと思う。議員発議に加え、子どもの権利条例等のように条例制定にも多く結びつけて行くべきと思うので、皆さんの意見も参考に今後努力して行きたい		

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
3	水沢南地区センター	議会の採決に欠席された理由は何か。	採決は、通常一ヶ月近い議会の最終日に行われるが、体調の問題があってやむを得ず欠席した	
		「議会だより」の記事で、議会での議論としてふさわしくないものが載っている。議会での質問のあり方を考えるべきではないか	「議会だより」の紙面の関係で、議論の内容を割愛して掲載しているが。そのことで誤解を受けることの無いように紙面の構成を考えて行きたい。議会の質問のあり方や、議論のあり方についても課題があると思う。今回、議会改革検討委員会を再設置したので、その中で検討し結論を出したい	
		300項目の事業見直しなどを含め、行政改革を徹底して進めて行かなければならない。次世代に禍根を残さないように、どんどん進めて欲しい	行政のあり方や施策の進め方は、様々な視点がある。市民の暮らしを守り、何が必要か見極めながら進めて行くべきと考えている	
4	黒石地区センター	賛否の公表について、欠席の理由は。	採決の日に病院へ行ったもの及び家庭のやむを得ない事情によるもの。	
		行財政改革プランは住民負担を強いるもの。議会としてはどう考えるか。	市と議会との話し合いはまだ。皆さんも気が付いたところは声を出してほしい。	
		人口問題は子育て支援が先決。議会でも何かいい考えを出してほしい。	皆さんと一緒に胸を張って「子育てするなら奥州市で」といえるようにやっていきたい。	
		会派というのはどういうものか。	国会の派閥のようなものではない。考えが合う人たちが集まっているもの。	
	前沢地区センター	農政関係の議論が少ないと思うので、ぜひ農政議論を深めてほしい。	要望として承る。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
4	前沢地区センター	人口減少の複合的要因は何か。議会としてどのように議論をしているのか。	雇用の場が少ない。少子化の状況にあるため現状は厳しい。社会減、自然減の両面があると思われる。働きながら子育てをしたいという人への支援をもっと充実させて、特徴のあるまちづくりをしていきたい。国の政治が地方を見ていないのではないか。農業がだめになると市の産業はダメになる。	
		地方創生法案をどのようにとらえているか。行財政改革(300項目)を見直す考えはないのか。中央政策の情報が取れていない状況と思われるが、もっと太いパイプを持つべきである。職員教育を行うべきである。議会自ら国の動向を調査研究すべきである。	市の現状を正しくとらえていると思う。今の意見を参考に今後の進め方を考えていきたい。国と地方の仕組みは違う。情報収集は大切であり勉強していきたい。300項目については、議会の考えをまとめることも必要。	
		議会のチェック機能はどうなっているのか。各種審議会をより開かれた審議会にしてほしい。	要望として承る。議会も出来るだけのことをしていきたい。	
		一般質問は1時間ごとに区切るのではなく、継続してほしい。	このような意見は初めて。ただ、トイレ休憩も必要。話し合ってみるが休憩は必要と思う。国会は出入り自由だから可能。検討はしてみたいがトイレも含め休憩は必要。	
		前沢診療所の早期再開を望む。また、特別委員会の状況はどうなっているのか。また、行財政改革プランについても、特別委員会を設置し、十二分に審議すべき。	特別委員会は、教育厚生常任委員が幹事となって今後の方針を決めた。明日委員会を行う。真剣に取り組む予定である。	
		前沢診療所再開に向けて議員が一丸となって努力してほしい。早期復活に向けて頑張してほしい。	特別委員会で調査していく。	

班	会場	質問、意見、提言等	回答(説明)	処理(調査・回答等)
4	胆沢愛宕地区センター	常任委員会の研修視察は毎年実施しているのか。公費か。日程は。費用対効果は導き出されているのか。必ずやらないとダメなのか。	公費として予算化している。市の課題等について研修し市政に役立てているもの。委員会としてきちんと勉強し取り組んでいる。考え方もいろいろであり実施に役立っている。責任をもって結果に反映させられるよう頑張っている。予算は昨年7万円で今年から10万円以内。宿泊に温泉も使っていないし費用も切り詰めている。昨年から職員も同行している。	
		議会だよりは年に4回出しているのか。何部出しているのか。市の広報より読みやすいと思う。広報のようにフルカラーでなくてもいいと思う。	1ページ当たり0.7円から0.8円くらい。フルカラーにすると単価は倍くらいかかるのではないかと。費用を抑えるために広報もフルカラーでなくてもいいのではないかと。これは意見として承る。	
	梁川地区センター	議会だよりの中の賛否の公表が「欠」の理由は何か。	1名は体調が悪いためであり、1名は家庭の事情によるもの。採決の大半が最終日に行われたため、欠が多くなったもの。	
		議会中継の音声聞きづらい。改善すべき。	機器が古いためであり、更新を要望していく。	
		梁川での開催は、今回は若い人たちも参加できるように夜の設定もお願いしたい。	要望として承る。	
	5	北股地区センター	生産年齢人口＝15歳～64歳というとうけいのとりかたは、これで良いのか。バランスの難しさ。義務と権利のバランスが取れていない。	この区分は統計上のものである。
江刺愛宕地区センター		「市議会だより」の発行経費はいくらか。どこから出ているのか。	支出項目は議会費。1回約100万円。年4回発行で、約400万円。	

班	会 場	質問、意見、提言等	回 答 (説 明)	処理(調査・回答等)
5	江刺愛宕 地区セン ター	(収入が減って)車を買えなくなる人が増えた。税収が減り、産業が弱くなった。行政の民間委託が増えた。企業誘致には長い目で見なければ。固定資産税が高いのでは。宅地を安くしてほしい。特に水沢は高い。	参考にしながら、議員活動していく。働く場所の確保は重要である。	
	佐倉河地 区センター	生産人口は65歳ではなく、70歳まででは。	この区分は、統計上のものである。	